

十月一日 〇八三六

① 軍司令官

② 秀雄 氏

生電譯文

至急

10月01日 17時0分

軍參謀長

震水

17時10分

26

第二組

陸

軍

震要電第四七四號

二〇日二一〇頃震水半島人暴民約三〇〇名

新月里海軍施設部ニ殺到主任萩野技手ニ対シ

軍需品ハ非法ニ不法ニテ諸問ニ刺ハ所在洛

軍保安隊武装解除ヲ實施セリ 震水半島人

側準備委員會幹部ノ言ニ依ルニ萩野技手ニ対シ

ニ控シテ警備ヲナス如ク取極メ一時

鎮圧ス 目下給失兵器彈藥ヲ極力搜索

中(一〇月一日)頃朝鮮人治安隊其他約  
 四〇〇名 邑内要塞檢問所ヲ襲ヒ武装解除  
 ヲ要求セルニ断呼トシテ拒絶ニ事無キヲ得タリ  
 憲兵隊ノ移動及赤色分子ノ濫シヤニ伴ヒ  
 管内ノ治安<sup>情勢</sup>急激ニ<sup>動</sup>ト見レルモ朝鮮  
 人側治安隊<sup>情勢</sup>動ニ武装解除ヲ為スガ如キハ  
 明カニ越權行為ニシテ紛失<sup>ハ</sup>兵器彈藥若干  
 アリ 麗水管内治安ハ勞働黨一暗躍ニ伴ヒ  
 急激ニ悪化ノ傾向アリテ暫定的ニ<sup>朝鮮軍需品及</sup>  
 朝鮮米軍未<sup>ハ</sup>襲迄海軍保安隊ト朝鮮人治  
 安隊ノ<sup>協働</sup>傾向ニアルヲ以テ諸事件ノ整理  
 ヲ併<sup>シ</sup>本日朝鮮人側幹部ヲ要塞司令部

二  
ス。 集合 12  
治安維持、萬全の期を如く要求

農水要基司令官

終

1093

作戰

生電譯文

受付番号 21

第 2 組

緊急

受付日時 10.01.17.10.

拜書日時 10.01.17.20.

軍参謀長

麗水

麗水電第四七七號

朝参電第七六九號返電

米軍連絡班の今が到着せず到着月日、至急送

麗水守備司令官

米軍側より連絡班派遣件

終



陸

軍

1094

生 電 譯 文

受付番號 39 第二組

至 急

發付日期 10月24日 05:30

發書日期 10月24日 05:30

軍 司 令 官

井 邑

護 朝 參 電 第 五 〇 三 號

復 員 業 務 並 二 連 絡 為 護 朝 部 隊 八 連 絡 班

一 部 ( 將 校 一 下 士 官 二 兵 六 ) ヲ 速 カニ 内 地ニ 先

遣 致ス 度 申 請 ス

終

輸送

生

緊急

10月01日

21時05分

12日

06時30分

24時

第二組

陸軍

軍參謀長

交船電第三號

朝參電第七八七號閱并

一北緯三八度以南、軍隊還送、閱ス能力見當

左、如シ(發港地、全部金山トス)

船名、收容人員、着港名、月間航海數、月間輸送人員

順トス

(一) 現、就航中ノモ、

(1) トクジ丸 二五〇 仙崎 二〇回 五萬

(10) コウア丸 五〇〇 博多 一五回 七五〇〇

|               |      |            |    |      |
|---------------|------|------------|----|------|
| (一) テウハク丸     | 一〇〇〇 | 舞鶴         | 五回 | 五〇〇〇 |
| (二) ウンゼン丸     | 一五〇〇 | 舞鶴         | 五回 | 七五〇〇 |
| (ホ) コウスイ丸     | 一〇〇〇 | 関門<br>カニモリ | 七回 | 七〇〇〇 |
| (ハ) カンネウ丸     | 一〇〇〇 | 関門<br>カニモリ | 七回 | 七〇〇〇 |
| 計 六隻          | 月間   | 一五         | 一五 | 〇〇   |
| (二) 近ヲ就航見込ノモノ | 境    |            |    |      |
| (ト) マミヤ丸      | 八〇〇  | 舞鶴         | 五回 | 四〇〇〇 |
| (ナ) ハクウ丸      | 二〇〇〇 | 舞鶴         | 五回 | 一萬   |
| 以上二八日新鴻発      |      |            |    |      |
| (リ) テンユウ丸     | 七〇〇  | 境          | 五回 | 三五〇〇 |
| 一〇月五日舞鶴発      |      |            |    |      |
| (ル) コガネ丸      | 五〇〇  | カニモリ       | 七回 | 三五〇〇 |



一、二  
二六日七尾発 計四隻 月間 二一〇〇〇

合計 一七二五〇

二、~~境~~及舞鶴處置ハ中國地方鉄道不通ニ伴

基クハ備機ノ處置ニシテ一乃至ニ航海ト判断スルル  
モ現地受入準備ノ關係上軍隊ハナルベク北九州  
ノクシヨユウセンヲ利用セシメ度

三、第一項船復ニ依リテハ民留民輸送ニ相當ノ  
圧迫ヲ加フルヲ以テ各船ノ増積ニ関シテ極ク配  
慮煩ニ度

尚エスエス、エスス、ノヲ以テスル輸送力増強ニ関シ

目下聯合國側ト折衝中ナリ

(通電先) 朝鮮軍

参考

船司、一船司釜山 西部 中國軍ト自己  
第一、第二總軍

終

動員

生至急

單參謀長

京城

01日17時49分

30

18時00分

第一組

不運第九六號

册二冊再應臣省七口名

八、三〇

京城発列車ニテ

大田へ輸送ス

終

動員

生

至急 11日 11時 20分

11時 20分

第二組

軍參謀長

北護朝夫多重岩四九五號

一九月三日再意召着 不浦將校 一下士官二

兵七井邑下士官一兵五 二二于数計

四二六名アリ

二他地区該當者無之

終

陸

軍

動員

生電譯文

至急 10月1日 18時20分

軍參謀長

10月1日再應召狀況左ノ通牒

光州 將校 一 下士官 五 兵 四四

全州 下士官 九 兵 一九

計 八八

本日迄累計

師管區部隊 八二八名

護朝護鮮部隊 七八〇名

計 一六〇八名

光州參謀長

新

31

第二組

陸

軍

輸送

生 電譯文

受付番号 第 二 組

至急

受付日時 10.02.06

発書終了 10.02.06

軍参謀長

井 邑

護朝参電第 五 〇 二 號

朝参電第 一 三 號 送

海南方面部隊ノ集結地 及 七 乘 車 驛 八

ホウセウトセラレ度

帰還輸送ニ関スル件

終

陸

軍

新

文報求也三三號  
 一海軍消息報三休六朝鮮三歸還陸軍三人  
 及一一般邦人約三〇〇〇乃至三六〇〇米軍(FST)  
 依り教日中三佐世保入港一趣三付然不  
 于配アリ度  
 二朝鮮軍前項具體的計畫ヲ均保方面ニ  
 速報アリ度  
 通電先 西印軍 築  
 参考 船司 一船司 父金少

10 9  
 02 29  
 05 17  
 20 00

32  
 10  
 02  
 07 00  
 20 20  
 著

東京

1104





情報

— 2 — 隠

三、被害者ハ再三鎮情セシ結果一旦強奪セシタル

一萬三千四百中約五千四百ヲ返還セラレタルモ未尚返

還セズ

四、被害者ハ青年隊副中隊長ニシテ警察ハ無力ニシテ

此ヲ取締ノ力ナシ

五、兵團ハ米軍連絡班ニ連絡シ善處ニツツアリ

獲朝 参謀 長

終

副

生電譯文

受付番號 33

第 二 組

至急

受付日時 10月29日 05:30

送書終了 10月29日 07:10

軍参謀長

サイン

秀嶺人電第 三 一 六 號

第五九師團参謀長ニ傳ヘ之度

事務昼買(キウムアソカイ)(モクダミシ) 九月一日附

召集解除セラルタル迄及不能ナルニ付 九月二日附

當部ニ採用セラル 依テ九月一七日附解廢セ之度

終

1107

生電譯文

受符巻號 29

第 二 組

至 急 受符昇 10月19日 17.20.

洋書終了

10月25日 10.

軍 兵 器 部 長

齊 井

岩 兵 電 第 四 六 號

朝 兵 電 第 九 六 三 號 返

部 品 約 一 頓 準 備 完 了 シ ア ル 毛 船 積 関 係 上

未 ダ 發 送 セ ズ 最 近 便 ニ テ 發 送 ス ル 毛 目 下 期 日 ヲ

定 ヲ 難 シ

岩 兵 器 部 長

朝鮮作命十一二五號三三部品件

終

副

生普通

19日 0時 24分

11時 20分 40分

第二組

軍參謀長

# 色

護朝参電第四九七號

護朝部隊連絡將校 豊森中尉ニ傳ヘラレ度

自動車貨車ニ輛ハ太田ニ行カサルコトナリタ

ルニ付 汽車ニ依リ 帰還スベシ

終

陸

軍

1109

兵

生 至急

受付日時 10.1.17.20

兵器部長

此若兵電四六号

朝兵電九六三号返

前品約

準備完了ニテ船積

関係上未だ發送セズ最近

毛目下期日ヲ定メ難

此若兵器部長

終

第二組  
受付番号 29

發書日時 10.1.11.40